

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 33 | 重度化や終末期に向けた方針を、職員全員で共有できるような、研修、話し合いが不十分であると考える。 | 職員皆でターミナルケアに取り組む姿勢を統一し、お客様の最期をその人らしく迎えられるよう支援していく。またご家族様にとっても、穏やかにそのときを迎えられるよう、支援していく。 | ・研修の実施； 法人を挙げて、ターミナルケアに向けた研修を実施し、職員一人ひとりの思いや、必要な技術を統一していく。 (3月23日開催予定) | 3ヶ月 |
| 2 | 34 | 急変や事故発生時に、職員一人ひとりが判断力・分析力を持ち、それに対応していく力が不足していると考える | 職員一人ひとりが的確な判断と実行ができ、そのリスクを最小限にとどめることができる。 | ・研修の実施； 全職員を対象とした普通救命講習の実施 (1月～2月 実施中) ・緊急時対応のマニュアルの見直し 法人の協力を得、実践に即したものとなるよう見直していく | 3ヶ月 |
| 3 | 35 | 災害対策について、地域の方々との連携がとれるよう運営推進会議等で話し合っているが、実践的なものになっていない。また、夜間の災害に対する準備・訓練が不十分である。災害時備蓄品についても定期的な確認・補充が不十分と考える。 | 災害に対する危機感を断続的に持ち、常日頃からの準備を怠らない。 | ・夜間想定避難訓練を実施する ・地域住民との協力関係の構築するため、運営推進会議を利用し、具体的な方向性を探り、実践していく ・備蓄品(食料・飲料水・生活水)の定期的な補充を行う | 6ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。